

No.2387 比良 ガリバー村～釈迦岳

日時：2013年10月27日（日）

参加：岡本（L）、佐々木（記）



あいにくの雨天でしたが 雨男二人、八淵の滝から釈迦岳を歩いてきました。

近江高島からガリバー旅行村へのバスは、シーズンながらこの天気 寂しい限り。

旅行村を突っ切り続く登山道は（9：40）、この台風18号の影響で一部抜け落ちていたが、巻程ではない。以前の完全な抜け落ち部は、巻き道がしっかりと付けられていた。

沢の水量は思った程ではないが、滝の水音は大きく さすがに名瀑100選にあたいする。

大摺鉢（10：05）、貴船滝（10：15）など足もとに注意しながら、巻き道分岐（10：25）を通過しさらに八雲ヶ原方面へ（オガサカ道は通らず）進む。

覚悟の雨は、小降りのまま止む事を知らない。午後からの空に期待して、八雲ヶ原分岐（11：25）、釈迦岳分岐（11：30）とほとんど休むこと無く、少し先のピーク（次郎坊山？）で昼食（11：35～12：15）。

昼食後は、関電の無線中継所のあるカラ岳（12：25）、釈迦岳（12：35 1060.6m）と一服しながら進む。すでに雨具の中は、汗と雨水で水浸し状態である。

下山道を、北小松駅方面か比良駅方面か迷った末、少しでも早く下山できるであろう比良駅と意外と二人共歩いた事の無い 旧登山リフト道をイン谷口へ下る事にする。

道の整備は良好、リフト下（13：55）、イン谷口（14：10）、JR比良駅着（14：45）お疲れ様でした。早速、ビチャビチャの下着まで着替え、駅前のおでん屋でちょっと一杯、反省会。ありがとうございました、解散。